

第6次総合計画

《将来像》

「郷土に愛着と誇りを持ち、豊かな自然の恵みを生かし、一人ひとりにやさしく、安全で安心して、健康で住み続けることのできる活力あるまち」

社会動向

- 少子・高齢化から人口減少社会へ
結婚や子育てがしやすい環境づくり、高齢者の生きがいや介護対策など、安心できる高齢社会対策
- 価値観の多様化へ
職業や生き方、家族形態の多様化、職業・結婚・生活様式などでの選択や自由度の拡大
- 共同体や生活単位の再構築へ
地縁型コミュニティから新しい共同体づくりに向けた検討
- 地域間の競争の時代へ
ふるさと納税、特区の推進など独自の地域づくりによる地域間競争
- 安全・安心重視へ
自然災害に対する防災体制、防犯や交通安全など生活安全対策の強化
- 循環型の環境社会へ
廃棄物対策の強化、リユース、リサイクルを基本の資源循環型社会の構築、自然環境の保全・継承
- 高速交通ネットワーク化とグローバル化社会へ
東京五輪、リニア整備、高速道の延伸など意思に関わらず、様々な分野での国内外の人々との交流機会の拡大、社会動向の日常生活への影響
- 情報・物流のネットワーク社会へ
行動圏の拡大の一方、家にいながらの買い物や消費行動など情報やモノの移動性の高まり
- 新しい助け合いや社会保障の視点の構築へ
行動圏の拡大や情報通信などの利便性の向上の一方、交通弱者や情報弱者、経済的な格差など従来の社会保障の視点の見直し

《大月市—地域づくり検討フロー》

グループ6

市民アンケートから

- 地域活動や行事への参加は
「している」66%、「していない」27%
- 市の将来人口については
「増加意向」66%、「現状維持」23%
「減少もやむなし」8.3%
- 産業の取り組みは
「優良企業の誘致」41%
「大型店舗の誘致」23%
「入浴等保養施設の整備」20%
「工業地の整備」20%など
- 広報大月を
「毎月読む」人は61%
「ホームページを見ている」人は23%
- 市の情報が充分伝達されていると
「思う」12%、「思わない」31%
- 今後、重視すべきキーワードは、
「福祉」26%、「自然」26%、「活気」25%
「子育て」17%、「定住」17%、「環境」16%
「産業」15%など
- 市の住良さについては
「住みよい(肯定派)」32%
「住みにくい(否定派)」38%
- 今後の居住意向は
「市内居住意向」69%
「市外への転出意向」29%

①地域の現況(10年間で良くなったところ)

- 1. 産業・観光の振興**
 - 猿橋周辺が注目されるようになった
 - 市民が自主的に開催するイベントや祭りが増えた
 - 市内のコンビニエンスストアの増加
 - 大月一駅逸品認定でJR各駅の食品・名所・伝統文化などがPRされた
 - おつけ団子がB級グルメとして注目された
 - 地域おこし協力隊による地域おこしが始まった
 - 求人広告等の掲載が増え、雇用が増加した
 - 登山ブームにより、登山客が増えた
- 2. 福祉・保健の充実**
 - 大月市立中央病院の改修
 - 分煙が進んだ
- 3. 都市整備の進展**
 - 大月駅南側の整備
 - 小中学校の耐震化
 - 大月バイパスの整備
 - 通信環境の整備
 - 川の水がきれいになってきた
- 4. 市職員、市民の意識向上**
 - 第6次計画の「信頼と協働」が市民に浸透してきた
 - 市職員の対応が良くなった
 - 住民が自主的になり、行政に頼らない風潮が生まれた

①地域の現況(10年間で悪くなったところ)

- 1. 福祉・保健面の問題点**
 - 産婦人科が無くなった
 - 認知症の増加
- 2. 都市整備**
 - 大月バイパスの整備に伴い、大月市を通過する人が増えている
 - 施設の老朽化、道路の損傷
 - 閉校跡地が利用できていない
 - 鳥沢駅のトイレが無くなった
 - 戸建ての賃貸物件が少ない
- 3. 市役所の問題点**
 - 市の財政悪化、借金の増加
 - 急激な市職員の削減
 - 時間外勤務の代休処理増加
- 4. 産業・観光面の問題点**
 - 廃業する店舗が多い
 - 店舗の閉店時間が早い
 - 農地や山林が荒廃している
 - 閉校に伴い賑わいが減少
 - 市全体に閉塞感がある
- 5. 人口減少の悪影響**
 - 少子高齢化が進んでいる
 - 近所付き合いの希薄化
 - 消防団員が不足している
 - 空家の増加
 - 地域のとりまとめ役の高齢化
- 6. 犯罪の増加**
 - 詐欺事件が増加している。

②地域の資源と可能性

1. 豊かな自然

- ジビエ(野生動物)の肉を使ったドッグフード作りや、皮を利用した革製品の開発を促進する
- 大月の木材を活用し、薪ストーブの使用を促進する
- 山、川の有効な活用を図る
- 登りやすい山が多くある
- 森林や土、水がきれい
- 岩殿山がある

2. 人材

- 元気な高齢者に労働力として活躍してもらう
- 子育て後の人材(かつて働いていた女性)を労働力として活用する

3. 都市整備

- 大月市は物流の拠点
- 座って通勤が可能
- 施設の耐震化の完了
- 大月駅北側の空き地の活用
- 耕作放棄地の活用
- 廃校校舎の活用
- 鉄道の廃線跡地の活用
- バイオマス発電の可能性
- 道路、鉄道ともに交通の要所

4. 他に誇れる文化

- 名勝猿橋

5. 産業・観光に活かせる資源

- 屋外アクティビティ(登山、クライミング、トレラン、沢登り、釣り、自転車など)を整備してブランド化を図る
- 既存施設(ゴルフ場、教育施設、空家、サッカー場など)の有効活用を図る
- ふるさと納税の特典にゴルフ場利用券の採用
- 都留市や小菅村も巻き込んで活性化を図る
- 川遊びができるような場所の整備
- 観光名所を作る(花を植えるなど)
- 特産品の販売の促進
- 養蚕が行われている
- アウトレットの誘致
- 宿泊施設を作る
- 駅にスパを作る
- 織物産業

6. 移住促進施策

- 空家や空き地を活用して、子育て世帯の移住を促進する
- 田舎暮らしを希望する人の移住を促進する

③地域課題

1. 福祉・保険の充実

- 特殊診療科や子ども優先窓口の設置など、他の病院との差別化を図る
- 他市の病院と専門科ネットワークを構築する
- 診療科や医師を充実させ、いつでも診療している体制をつくる
- 高齢者など、買い物弱者への対策を行う

2. 都市整備の推進

- 大月駅南側の店舗のコンセプトや店の統一感を出す
- 市営住宅建て替え時に、コンビニやクリニック、託児所などの併設を検討
- 古民家をリニューアルして活用する方法を検討する
- 交通インフラ整備に伴うゴミや騒音、渋滞対策を講じる
- 猿橋などの観光スポットに、大型用駐車場を確保する
- 畑付き住宅の斡旋などで、東京のベッドタウン化を図る

3. 産業・観光の振興

- 新しい大月の名物や特産品を開発する
- ふるさと納税の返礼品にゴルフ場の割引券を採用する
- 交通の要所であることを活用する
- バイパスに案内看板を設置して市内に誘導する
- 若い人が農林業へ就労しやすい体制をつくる
- バイオマス発電所や駒橋発電所などを名所化する
- 休憩所や宿泊施設等を整備する
- 大月駅周辺へのツアーバスの乗り入れを促進する
- 市内に滞留してもらえるような魅力的な商業施設や店舗を誘致する
- 看板やガイドの多言語化など、外国人対応を強化する
- アウトドア関連の企業を誘致する
- 市内の川の魅力を登山者などにPRして集客につなげる

4. 子育て・教育環境の充実

- 継続的に難関大学の入学実績を作り、「教育力の高いまち」としてPRする
- 教育費がかからないまちであることをPRする
- 地域ぐるみで子育てが行えるような施策を考える
- 子育て中の母親が情報交換できる交流の場をつくる
- いじめや非行が少ない、子育てしやすいまちをPRする
- 子育て中の母親が安心して買い物ができる場所をつくる
- 出産・子育てが安心してできる医療体制をつくる

5. 人材の活用

- 若い人や高齢者が得意なことを活かせる体制をつくる
- 市民が地域行事に積極的に参加できる体制をつくる

6. 市役所の課題

- 大月駅との複合施設など、新しい市役所のあり方を多方面から検討する
- 市役所の雰囲気をよくするように努める
- 市職員について、部門のスペシャリストの養成を図る
- 市職員の健康意識向上を図る
- 耐震化された学校内に災害対策本部を設置するなど、未耐震の現市庁舎の機能を補う対策を講じる

④今後 10 年間の重点取り組み

1. 大月の総合力の向上

- いくつもある大月市の魅力の一つずつ発信するのではなく、マッチングしてプラスアルファの魅力を引き出し発信する

2. 市役所機能や職員能力の向上

- 市役所新庁舎には、子どもから大人までが集える交流の場を設置する
- 市役所の職場の活力向上、市民から愛される市役所をめざす
- 心身共に健全な市職員をめざす

3. 子育て・教育環境が充実したまちづくり

- 子どもを褒める教育の促進
- スポーツ振興、生涯学習の促進
- 基礎学力の底上げと、ふるさと教育の融合による大月のエキスパートの育成
- 継続的に難関大学への入学者を出し、教育のまちとしての実績をつくる
- 教育や子育てに費用のかからないまちづくり
- 地域ぐるみで、安心して子育てができる環境づくり

4. 産業・観光の振興

- 点在する観光ポイントのネットワーク化を図る
- アウトドア地域としてのブランド化を図る
- 民間活力を利用して、滞在施設を整備する

5. 福祉・保健の充実

- 特殊診療科の設置や気軽に初期診療が受診できるなど、特色ある病院づくりを行い、経営の再建をめざす

6. 大月への移住促進

- 大月の住環境の良さを発信する
- 都会の人に田舎暮らしの魅力を発信し、移住を促進する

●他グループの視点を参考に追加した項目

- 都市機能の集約
- 財政の健全化
- 地域資源の再考

⑤地域づくりの方向性(キーワード)

【重要なキーワード】

自然、紡ぐ、総合力、教育、まち、ブランド

【キーワード】

癒し、新、自分らしさ、繋ぐ、結ぶ、縁、緑、集う、憩う、子育て、
 アピール、発信、田舎、現状維持、医療、福祉、筋肉、スポーツ、
 生涯学習、山、ほめる、躍動、向上、産業、観光、保健、移住、
 マッチング、交流、愛される、健全、振興、促進、ふるさと、融合、
 エキスパート、実績、地域、ぐるみ、安心、点在、ポイント、
 ネットワーク、アウトドア、民間、活力、滞在、施設、整備、特色、
 経営、再建、住環境、都会、暮らし、魅力、醸成、結集



⑥大月の将来像(テーマ)

(案1)総合力をつむぐまち ~攻めの現状維持~

(案2)ひとの総合力をつむぐまち

(案3)愛されるふるさとへ 環境と教育の大月ブランド



ひとの総合力をつむぐまち ~環境と教育の大月ブランド~